



草笛学園 2024年 最終号

### ★「ほめる」ってどういうこと？

「ほめる」というのも、単に「ほめことばをご褒美に与える」ということではないんですよね。それだったら、「できたら、チョコレートあげるよ」「がんばったら、おこづかいあげる」というのと実はおなじ。輪くぐりや玉つきをしたら餌をもらえるオットセイやライオンと同じです。もっと大切なことは、ほめられることで人間らしい共感の心が生まれ、「自分で自分のよさ」に気づいていくこと。「私にも、こんなところがあったんだな」「僕は、こんなところでがんばってたんだな」「なかなか、私も捨てたもんやないな」……。忙しい現代社会だからこそ、こんな「ほめる」がより大切になってきているようです。

### ★「ほめる」材料をつくろう

「ほめる」ことが大切とは思っていても、普段の生活では「しかる材料はなんぼでもあるけど……」になりがちですね。子どもといっしょに生活をつくることで、まずは、「ほめる」材料をつくりましょう。

子どもと遊んであげたいけど、まずは掃除や洗濯、買い物をすませないことには……とばかりに、「ちょっと待ってなさい。あとで遊んであげるから」「邪魔ばかりしてたら、遊べないよ」なんて言ってませんか。子どもは、そう親の思いどおりに素直には聞いてはくれません。それより、子どもと一緒に掃除や洗濯をしてみませんか。確かに、子どもと一緒にする方が時間も手間もかかって大変ですが、でも、子どもにまわりつかれてイライラするよりは、ずっと精神衛生的にもいいですよ。それに、何といても、おかあさんのすることは子どもにとって魅力的なこと、この上なし。「へえ、おかあさんってすごいなあ」「おとうさん、やるう」と憧れの心をふくらまし、そして、「ほめる」材料だっていっぱいできます。ただし、そのときのコツは、そうきんなどの道具はできるだけ子どもの分とふたつ用意し、おかあさんがするのを見て子どもが真似しながら、でも自分でできるようにすること（自分の分がないと、まずはおかあさんの持っているものを取りたがり、それを奪い返そうとすると、お互いに疲れます）、それから、エプロンなど子どもがその気になるようなお膳立てをすること、そして何よりも大切なのは、「どうせ子どもとの関わりは必要なのだから、特別に遊ぶ時間をつくろうと焦るよりは、この時間を大切にしよう」と開き直すことです。

### ★正しいしかり方って？

子育ての基本は、子どもをしっかりほめ、励ますことです。でも、しかることが必要なときだってもちろんあります。年齢が小さいときは、危険なことを教えるために、四、五歳以上になっても考える力をつけてきた子どもたちには、社会的なルールや生き方を伝えるために……。自分より小さい子をいじめたり、他人をけなしたり、という時にきちんと叱ることも大切です。しかし、そのときも頭ごなしに「悪い」と叱りつけるだけでなく、なぜ、その子がそういう行動をとるのか、ゆっくり考えてあげましょう。子どもの言い分も聞きましょう。

本当は、おかあさんやおとうさんにももっと自分のことを見てほしくて、わざと悪いことをする場合だってあります。その場合には、いじめたりけなしたりの事実を叱るだけでは解決しません。「そういえば最近、子どもの話を聞く時間がなかったな」「忙しすぎて、子どものこと放っておいたな」と気づいたら、寝る前のちょっとの時間やお風呂の時間だけでも、子どもを抱いて、子どもの話をゆっくり聞いてあげたいですね。

参考文献『ほめてしかって子育て上手』白石恵理子著

忙しい毎日ですが、子どもと過ごす時間の量ではなく、今、できることの範囲で子どもとの時間を作り出せたらいいですね。おススメの場面やコツが書かれていました。よろしければご活用ください。また、「自分は自分であっていい」というありのままの自分を受け入れられる、そして周りも受け入れて、みんなが寛容で助け合っていくような社会にこれからなっていけばいいなと思いました。そのために、まず、子ども達自身が自分のよさを知り、そして自分はひとりではなくて愛されていることを実感することが大切なのかなと上記の白石先生の「ほめる」お話を読んで感じています。ほめたり、評価するポイントとして「できた」「できなかった」ということになりがちですが、そこまで至った『プロセス（過程）』を含めて子どもたちを認めていくと、より豊かな子どもの育ちにつながっていきます。

### ☆今日でさくらんぼ教室はおしまいです。先生たちからのメッセージです☆

おさんぽ、ぷーる、うどんづくりと たくさん おともだちと あそべて  
たのしかったね！しょうがっこうも いろいろなことに ちゃれんじして たのし  
んでね♪ くらせんせい より  
さくらんぼきょうしつ たのしかったですか？ せんせいは とっても たのし  
かった です！ おともだちを だいじにしている みんな！しょうがっこうに  
いっても たくさんの おともだちを つくって、たのしく すごしてください！  
おうえんしています！ そんじょうせんせい より  
いっしょに あそべて たのしかったです♪いつまでも おうえん しています  
お母さん、お父さん、いつもありがとうございました。

さとうせんせい より